

東北新幹線古川駅～仙台駅間 はやぶさ・こまち6号が走行中に連結部が外れ停車した事象について

2024年9月30日
東日本旅客鉄道株式会社

1 概況 【別紙1】

発生日時：9月19日（木） 8時07分頃

発生場所：東北新幹線 古川駅～仙台駅間

関係列車：はやぶさ・こまち6号（E5系10両、E6系7両の併結編成）

概況：走行中に、はやぶさ号とこまち号の連結部が外れ、非常ブレーキ及び緊急ブレーキにより停車

2 推定原因 【別紙2】

- ・E6系こまち号の調査において発見された金属片により、E6系運転台に設置されている、併合作業が完了しない場合に再度分割させるために扱うスイッチの端子間が短絡
- ・これにより、本来スイッチを扱うことで電気的につながる箇所が強制的につながり、連結器が外れた
- ・車両メーカーとの調査によると、この金属片は車両の製造時に発生したものの一部が車体内部に残っていた

3 対策

- ・暫定対策として、当該のスイッチから配線を取り外し、回路を無効化（併合運転を行う全96編成）
- ・恒久対策として、連結器を分割させる回路が走行中に動作しない仕組みに見直す

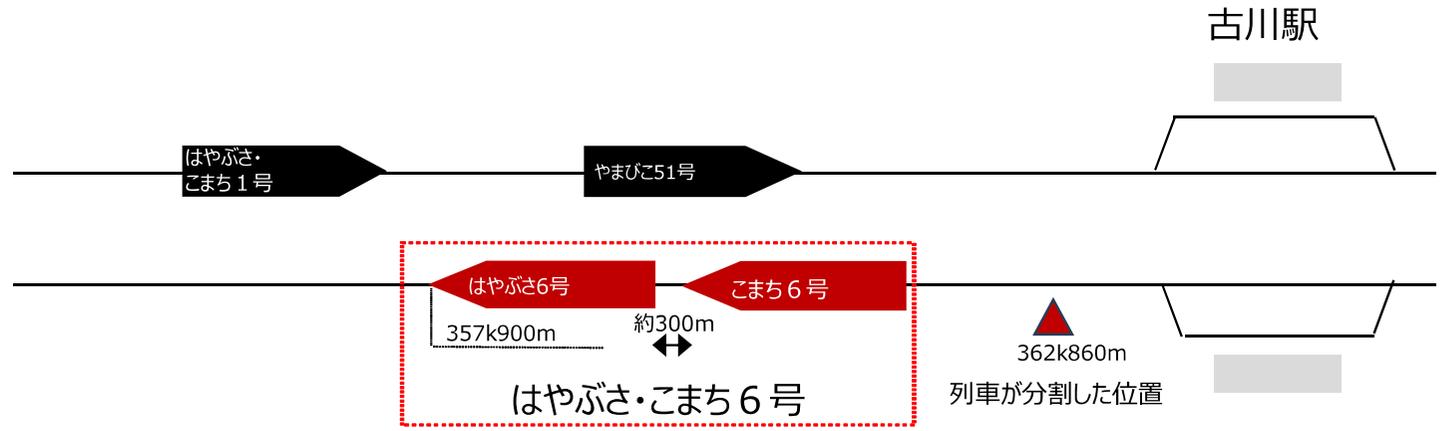
別紙1 概況



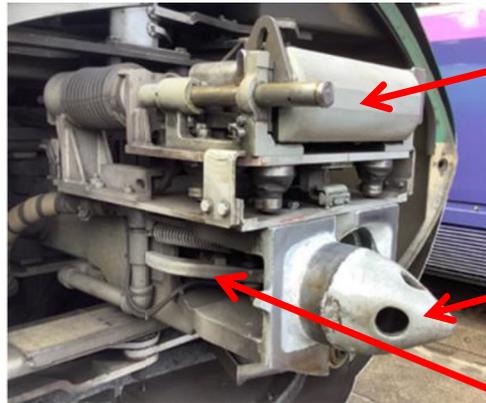
停車状況

←東京方

新青森方→



E 5系 はやぶさ号10号車

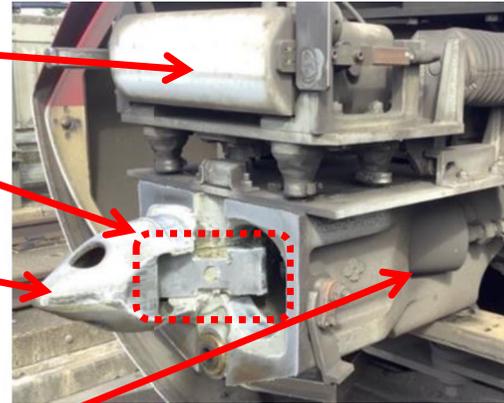


電気連結器

連結錠

密着連結器

テコ シリンダー



E 6系 こまち号11号車



別紙 2 走行中に連結部が外れた推定経緯

1 E6系側において、金属片が端子を短絡したことで連結器を分割させる回路が動作

